会議議事録

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名 | 令和元年度「職業実践専門課程等を通じた専修学校の質保証・向上の推進」  Ⅰ．教職員の資質能力向上の推進　（ⅱ）教職員研修プログラムの構築事業 |
| 代表校 | 一般社団法人全国専門学校教育研究会 |

|  |  |
| --- | --- |
| 会議名 | 第3回ICT活用研修WG |
| 開催日時 | 令和元年9月20日（金）　14：00〜16：00 |
| 場所 | 学校法人京都中央学院　1号館301教室  京都市下京区油小路通塩小路下る西油小路町27番地 |
| 出席者 | 委　　員：山根大助（学校法人京都中央学院）、岩切直子（学校法人麻生塾）、猪俣昇（株式会社ウイネット）、合田美子（熊本大学）、加藤猛（学校法人穴吹学園）  請負業者：飯塚正成（有限会社ザ・ライスマウンド） |
| 議題等 | １）第１回実証講座について  2019年9月19日（木）・20日（金）に実施した実証講座について、第2回WGでの改善案を踏まえ、研修に参加した講師および、委員により意見交換をおこなった。  <インストラクショナルデザイン（以下、ID）>  ・IDについて、講座での導入方法や説明内容、用語について  ・IDおよび動画作成に関する事前学習動画の内容と当日の研修の役割分担について  ・事前学習に基づく指導案の作成について（動画などの条件などを詳しく明示する必要があった）  ・動画作成のテーマを汎用性のある内容から、受講者の担当内容に変更したことにより見られた影響について（積極性、工夫、アイデアが多く見られた）  ・動画教材の質を確認するためのチェックリストの内容と講座内容の連動について  ・事前学習の理解程度を測る方法と課題の提出時期について（講師養成講座への影響を考慮）  <動画教材の制作>  ・動画教材がブラッシュアップされる過程に大きく影響したグループワークについて  ・動画教材制作の到達目標について（GWで全員完成させる必要があるか）  ・動画撮影の環境について、教室を複数用意したことによる影響  ・動画教材の活用に必要な環境について  <事前動画>  ・教材のポイントを絞ったことによって得られた効果について  ・教員インタビューを動画に取り入れたことで得られた効果について  <実証講座運営に関して>  環境について  ・スクリーンと講師の適切な距離について  ・今回利用した書画カメラについて（全ての環境であるとは限らないので、前提としては含めないように）  ・WiFiがうまく動作しなかった（環境が）ネットワークに関して  ・動画を撮影する際の縦横比について（動画を視聴する環境がスマホが中心になるであろうから、縦位置をメインに考え、必要に応じて使い分ける）  教室の確保（撮影場所について）  ・研修は主に学校単位で、教員向けに実施することを想定しており、解決できるのではないか  ・必要に応じてパーテーションを有効活用すること  ・動画に入る音声の問題（指向性マイクは使わないことを前提に開発する）  ２）ICT活用研修講師養成研修について  研修で必要になるであろう項目の確認  ・受講者が提出する指導案シートにたいする指導内容について（視点や論点を確認するための研修をWG形式で実施することを検討）  ・イレギュラーな質問への対応について（Q & Aの準備など）  ・講師の習熟度について（講師がすべてを習熟する必要はなく、適切な進め方ができ、受講生が自分で考えを深めていく手助けをするようコメントするなどの視点を学ぶ研修とする）  ・動画制作とIDのバランスについて  これまでの研修から得られた成果の活用について  ・良く出る質問も2つのパートに分けている（事前課題、動画作成）  ・これまで作った動画はリファレンスにつけている（事前課題の事例）  ・事前学習の動画として出す予定  ・動画の作り方については動画教材を見る（復習用）  カリキュラムとルーブリックの確認と精査  ・研修の対象者について  ・受講できる人が限られるため、前提条件として示されている「研修受講経験者」については、緩やかに考える。 |

以上